



令和元年7月19日
第118号

発行 福岡視力障害センター
〒819-0165 福岡市西区今津 4820-1
(電話) 092 (806) 1361
(FAX) 092 (806) 1365

ホームページ
<http://www.rehab.go.jp/fukuoka/>
印刷 社会福祉法人 福岡コロニー

就労移行支援(養成施設)入所式

平成31年4月8日(月)、就労移行支援(養成施設)の入所式が無事に今年も執り行われました。今年、男性5名、女性5名の新入生10名を迎えています。半数は自立訓練(機能訓練)からの利用者です。新入生の皆さんは年齢層の幅がとても広いですが、年の差を超えてそれぞれ補い合いながら仲良く過ごしている姿を随所で見かけ、とても微笑ましく暖かい気持ちになります。新利用者を代表しての挨拶は毎年のことですが、訓練に臨む強い意志が込められていました。また、新入生を迎える自治会長の挨拶は暖かく、新入生へのエールが込められた素晴らしいものでした。福岡センター創立50周年と令和元年が重なった良き本年、

1年生の皆さんが希望あるスタートをきり、3年間無事に全うされますことを念じます。



<新入生代表の挨拶>

暖かな春の光に誘われて、桜の花も咲き誇る、今日の良き日に、私達新入生の為にこのような入所式を執り行って頂き誠にありがとうございます。

本日より私達は、この福岡視力障害センターで新たな一歩を踏み出します。ここに至るまでの間、それぞれに様々な思いや苦悩があった事と思います。これから3年間、新入生一同、三療師を目指して共に助け合い切磋琢磨し、技術と知識を身に付けていくことを誓います。

職員の皆様、並びにご家族の皆様、そして先輩方、時に厳しく時にやさしくご指導、ご鞭撻いただけますよう宜しくお願いいたします。これをもちまして新入生代表のあいさつとさせていただきます。

平成31年4月8日 高田 孔治



就労移行支援(養成施設)新入生の抱負

牛山 幸恵

令和元年、そして記念すべき創立50周年の年に入学できたことを嬉しく思います。このセンターで、あはきの基礎を学び資格を取り、将来的にはアロママッサージ、美容鍼、アロマ灸を習得し、美容と健康と癒しを提供できるサロンの開業を目指して頑張ります！どうせなら夢は大きくなっちゃね♪

匿名希望

ぴかぴかの1年生…(笑)新元号と共に新たな道を進むことになり、先の見えぬ不安と期待が混在している。視覚抜きで学問を修めることができるのか？私の人生で初めての経験である。やってみなければわからぬが、やりがいのあることではないか？進めば、新たな道が開けることを信じて、今、一步を踏み出してみたい。

匿名希望

十数年ぶりに勉強をすることになり覚えることが多く、また共同生活でも不安になることがありますが、みなさんと助け合ってがんばりたいです。

匿名希望

久しぶりの学生生活と慣れない寮生活に、ドキドキ・バタバタの毎日。でも様々なことを学び、経験できる楽しさと刺激をいただく日々です。出会えた仲間や先輩方、そして先生方に感謝しながら、「自分への挑戦！」という気持ちで頑張ろうと思います。

M.M.

留年することなく、あん摩・はり・きゅうの全ての国家試験に合格できるように、健康に気をつけて頑張ります。

M.Y.

日々新しい知識が増えていき戸惑うことがありますが、自身の夢に向かって一歩ずつ進んでいきたいと思っています。そのためにも体調管理など気をつけながら勉強に励んでいきます。また実技の方でも力が身につくようコツコツと努力していきたいです。

匿名希望

自分は、3年前に視力が低下し、仕事も辞めて、引きこもり、自堕落な生活をして、ハローワークに行き、今後のことを相談し、福岡視力障害センターを紹介してもらいました。第2の人生として、今後生きてみようと思います。

A.F.

国家試験に合格するよう頑張るぞ！

匿名希望

3年間がんばりたいと思います。

高田孔治

私は、ここに至るまでの間様々な人からの手助けをいただいてきたので、これから人に感謝されるような三療師を目指して技術と知識を身に付けていきます。大変なこともあると思いますが、楽しみながら様々なことを考え3年間を過ごしていきたいと思っています。



新入生ハイキング

4月12日金曜日、天気は快晴。桜の花もようやく満開になった頃、就労移行支援(養成施設)1年生のオリエンテーションの一環としてハイキングを行いました。

自立訓練(機能訓練)の利用者も参加し、計14名の利用者が参加しました。

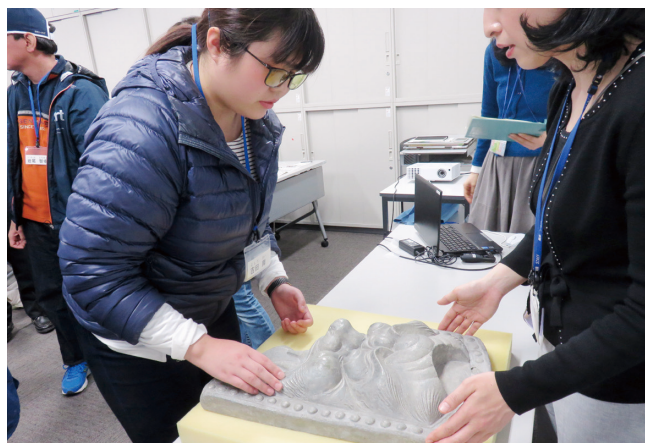
目的地は「九州国立博物館」「大宰府天満宮」。貸し切りバスを利用し皆さんバスの中でのレクリエーションを楽しみながら目的地に向かいました。

九州国立博物館では鬼瓦作り体験や、博物館内を見学しながら旧石器、縄文、弥生時代の土器や剣等々の実物や3Dプリンターによる複製物を博物館職員の方々の説明を受けながら実際に触れて普段触ることの出来ない展示物を肌で感じられる貴重な体験をしました。ちなみに鬼瓦はお土産と

して持って帰ることができました。

太宰府天満宮では学業成就の参拝や梅が枝餅を食すなど班ごとに思い思いの時間を過ごしました。

参加者同士の親睦も深めることの出来る貴重な体験になったと思います。



令和元年度年間行事予定

4月4日 始業式
前期開始(~9月20日)

4月8日 入所式

4月12日 新利用者ハイキング

6月7日 創立50周年記念式典

6月25日 スポーツ訓練発表会(前期)

6月27日 訓練公開

7月9日 総合防災訓練

7月20日 夏季休業(~8月25日)

7月下旬 解剖見学実習

8月25日 卒後研修会

9月24日 後期開始(~2月27日)

10月1日 再理療教育開講式

10月19日 卒後特別研修会(~10月20日)

10月26日 Eyeあいフェスタ
(視覚障害者福祉フェスティバル)

11月21日 総合防災訓練

12月12日 スポーツ訓練発表会(後期)
もちつき大会

12月14日 冬季休業(~1月6日)

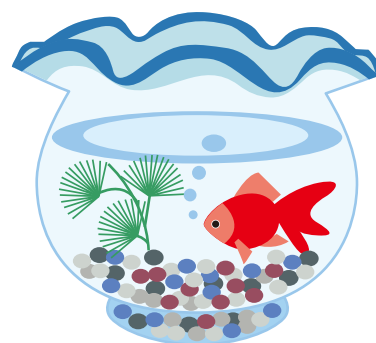
2月21日 再理療教育閉講式

2月22日 あん摩マッサージ指圧師国家試験

2月23日 はり師・きゅう師国家試験

2月27日 卒業式、終業式

3月下旬 国家試験合格発表



平成30年度国家試験結果と進路状況

(国家試験結果)

平成31年2月23日(土)、24日(日)に福岡センターを会場に第27回あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の国家試験が実施され3月26日(火)午後2時に結果発表がありました。福岡センター、全国の結果は以下のとおりです。

【福岡センター】新 卒

【福岡センター】既 卒

	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)
あん摩指師	6	6	100.0%	6	1	16.7%
はり師	6	4	66.7%	8	3	37.5%
きゅう師	6	4	66.7%	8	3	37.5%

【全 国】新 卒

【全 国】既 卒

	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)
あん摩指師	1288	1234	95.8%	210	66	31.4%
はり師	3306	3079	93.1%	1555	633	40.7%
きゅう師	3306	3115	94.2%	1349	541	40.1%

【自立支援局各センター】合 計

【全 国】合 計

	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)
あん摩指師	42	23	54.8%	1498	1300	86.8%
はり師	44	20	45.5%	4861	3712	76.4%
きゅう師	43	20	46.5%	4655	3656	78.5%

(進路状況)

平成30年度卒業生の進路状況については、以下の通りです。

R元.5.31

進 路	人数(人)
高齢者施設	1
病 院	1
進 学	1
自立訓練(機能訓練)	2
その他(独自事業希望者)	1



就労移行支援(養成施設)卒業生の近況報告

福岡視力センター在生、卒業生の皆さんこんにちは。平成15年卒の吉武健二郎です。福岡市在住です。視力センターへ入所したときは18歳でした。早いもので現在、37歳で1歳8ヶ月の息子が居ます。教官補助の仕事でセンターへ行く度に楽しかった3年間を思い出します。

センター入所当初は将来のことなど何も考えておらず、大分の田舎から福岡に出てきたことが新鮮で、街に出ることが楽しくて、仲間とカラオケに行ったりして、勉強は殆どしていませんでした。テスト前に勉強するくらいで3年生に進級しました。それでもまだ21歳。遊びたい盛りでした。知人から徳島県立盲学校に理学療法科があることを聞いて、そこに行けばとりあえず働かず、遊んで暮らせる楽しい学生生活が待っていると浮かれていました。

徳島の理学療法科では、解剖学、生理学は履修済みなので理解も容易で最初のテストでは100点を取り、また調子に乗りました。三療師の資格もあるので、学校が終わると街の治療院でアルバイトをして、同僚や友達と繁華街で遊び、テスト前しか勉強をしませんでした。

ところが理学療法科の勉強は難しく、成績は低空飛行、赤点も取りました。ストレートで3年生へ進級しましたが、ついにここで病院実習という壁に当たりました。実際に担当患者さんを評価し理学療法プログラムを立て実施、レポートする。文献抄読といって研究した事を文献を元にまとめ、病院の先生方の前で発表する。寝る時間の無い毎日で、病院でも上手く立ち回れず、出来の悪い私はこの時、人生で一番苦勞しました。『三療の免許があるからPTにならなくてもいいか。眼が悪くてやりたいこともなくただ流れてここまで来ただけだし・・・』など、実習中に考えるようになりました。

しかし、そんな辛い時、センターの仲間の顔が浮かびました。また、実習先の担当していた患者さんの一言が私を変えました。重度の認知症の高齢女性でしたが、私が体調不良で休んだ次の日『あんだ



教務課事務室にて執務中の筆者

がおらんかったから寂しかったでえ。調子はいけるん?』と私を気遣ってくれました。『休んだりして・・・この人を裏切ってはいけない、私はセラピストになるのだ。』それから私は変わりました。

卒後、24歳で療養型の病院に理学療法士として、初めて就職をしました。先輩セラピストや他職種、そして患者さんから多くの事を学びました。



手の拘縮予防の為のハンドロールの作成・施工

先輩PTが訪問リハに連れて行ってきてリハ室ではなく実際の患者さんの家での生活(ADL)を見ることができ、家で困っていることにアプローチをしたいと思い、結果的に病院を辞め、訪問マッサージ、老人保健施設、など経験しました。そして平成24年に出張専門マッサージ治療院を開業し、7年目に入りました。視力センターから教官補助の依頼もあり勉強の日々で現在とても充実しています。

仕事は、組織に属していないので目の前の患者さんに自分の思っている事が全力で行えるので非常に楽しいです。費用などの縛りも自分次第なので、例えば手の関節拘縮の進行予防のために物品を揃えて制作・提供したり、PTの知識を活かし



関節可動域訓練、ストレッチ

治療中に患者さんに歩いてもらったり、トイレ動作してもらったりしてADLの評価・分析を行っています。これが病院勤務の場合経費として認められなかったり勝手な事として許されなかったり、訪問マッサージで雇われの身の場合、『マッサージ以外はしなくていい』などと言われることがあったりするかもしれません。PTだからとかマッサージ師だからではなく、私は目の前の患者さんが何にどういうことで困っているのかを把握し、機能障害だけではなくADLにもアプローチをしています。

『PTの免許がないから分からない』とか『マッサージ師の仕事ではない』などという意見を聞きますが、患者さんを変えるにはまず自分が変わらなければなりません。

今の私があるのも、視力センターの仲間たち、そして必要としてくれる患者さんのお陰です。今後も、人を大事に、まだまだ他にも取り組むべき事があるので日々研鑽に励んでいきたいと思えます。



自立訓練(機能訓練)の紹介

(調理訓練)

ここでは、自立訓練で行っている調理訓練の紹介を行います。調理訓練を希望する方は、女性のみではなく、男性も多くいらっしゃいます。男性には、簡単・手軽で栄養バランスのとれた食事を準備するために必要な知識や技術を得ていただく訓練を行っています。女性には、その方の生活環境に合わせた食事を準備するために必要な知識や技術を得ていただく訓練を行っています。また、糖尿病等配慮を要する食事が必要な方や栄養に関する知識を深めることを希望する方には、栄養士による栄養指導と併行して訓練を行っています。





ご飯が見やすい黒茶碗、黒しゃもじ

程度の調理を希望しているか確認の後、訓練内容を計画し進めています。訓練では、それぞれの方

実際に進めていくにあたっては、本人のこれまでの調理経験や知識や技術の状況と、どの

の目的に応じた知識や技術の習得はもちろんですが、便利なグッズの紹介や利用も併せて行っています。調理訓練に興味のある方、受けてみたい方は、是非センターにいらしてください。お待ちしております。



職員の異動

平成31年3月31日

<退職>

鬼塚 剛博(庶務課長)
堀内 秀一郎(庶務課長補佐)
室井 忠(調理師)

平成31年4月1日

<転出>

佐藤 智紀(教務課教官)
(リハセンターへ)

<転入>

丸山 家太郎(庶務課長)
(リハセンターより)
白石 朱音(庶務課会計係)
(神戸センターより)
水元 ひろみ(教務課教官)
(リハセンターより)

新職員の紹介

庶務課 丸山 家太郎

4月1日付けで、国立障害者リハビリテーションセンターより転任してまいりました丸山家太郎と申します。出身は新潟県で、福岡での勤務は初めてとなります。新しい勤務地で気持ちを新たに仕事に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

庶務課 白石 朱音

4月1日付けで神戸視力障害センターより転任しました白石と申します。初任地である福岡センターに久しぶりに戻り懐かしさを感じています。

これから庶務課の一員として精一杯業務に励みたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

教務課 水元 ひろみ

本年度4月1日付けでリハセンターより赴任して参りました、水元ひろみと申します。こちらに来てまだ間もないですが、海がすぐのこの地をとて気に入っています。新天地で気持ち新たに頑張りたいと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。

利用者募集

1 当センターが提供する施設障害福祉サービス

サービス名	サービス内容	利用開始日	利用申請受付
自立訓練 (機能訓練)	歩行訓練、点字訓練、パソコン訓練、タブレット訓練、日常生活訓練(身辺処理・調理等)、スポーツ訓練、視覚的補助具の紹介、教養等	随時 (原則として月曜日)	随時
就労移行支援 (養成施設)	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家試験受験資格取得に向けた学習、進路支援等	毎年度 4月上旬	年3回

※通所が困難な方に宿舍・食事・生活支援等を行う「施設入所支援」サービスも提供しています。

2 利用に関する問い合わせ

サービス利用や利用料等の詳細、パンフレット等の送付、施設利用のお申込み、見学をご希望の方は、下記までお気軽にお問い合わせください。

電話：092-807-2844(支援課直通)

092-806-1361(代表)

Eメール：shienka-f@mhlw.go.jp



(ホームページQRコード)



編集後記

匿名希望

新年度も始まり、今年は10名が新しく入所されました。雰囲気も一新されセンターも「令和」を迎えたように感じます。年々と国家試験も難しくなっています。共に資格取得を目指して頑張りましょう。

専門課程2年 山崎 惇

本年センターでは6名の卒業生を送り、10名の新入生を迎えました。今年の新入生は女性が半数を占め、センターも一段と華やかになった気がします。今年2月の卒業生は素晴らしい試験結果を残してくださいました。新入生もぜひ頑張ってください。